14春闘奮闘中

働きつづけられる職場を

出足早く 要求書を出す 職場が増えました

14春闘では、「法令遵守度チェック」や「14春闘要求アンケート」を通じて、組合員の要求と職場の矛盾を明らかにし、3月に統一要求書提出と団体交渉をめざすことを確認しました。

方針提起に応えた職場では、年度末一時金の増額などを実現しました。

大幅賃上げを めざし、ベアを 獲得した分会も

14春闘統一要求書では、ベースアップを含む大幅賃上げを明記しました。景気回復の兆しがみえる大企業や他産業とは違い、制度の改悪や縮小など、厳しい情勢での春闘でしたが、東京では2分会、高知・京都でも1分会がベースアップを実現しました。

非正規労働者の 要求実現に むけての要求も

「誰でも時給1200円以上」を統一要求に掲げて非正規・パート労働者の賃金・労働条件改善をめざした14春闘。各分会も独自要求を提出し、いくつかの前進を勝ち取っています。

非正規要求実現のカギは非正規・パートのなかまを組合に迎え入れることです。しかし、切実な要求なのにもかかわらず、非正規の組織化は進んでいません。

組合員拡大月間中に、一人でも多くのなかまを組合に迎えましょう。

これからも「あたり前の要求」を前面に出して

「1日8時間以内、週40時間以内労働」「残業したら残業手当が支給される」ことは法律に明記されている「あたり前のルール」です。困難な実態もありますが、おかしいことはおかしいと言う「あたり前の要求」を掲げて職場から正していくことが、ブラック企業が横行し、「残業代ゼロ」まで狙われる社会を変える第一歩です。法令遵守のとりくみに引き続きこだわりましょう。

福祉保育労14春闘　特徴的な要求

〈賃金〉ベースアップ、一時金の引上げ、パート時給10円～120円以上アップ、非正規（常勤）の昇給＋一時金引上げ、不払残業の一掃

〈手当〉被服手当増額、予防接種の事業主負担もしくは補助、非正規の住宅手当・寒冷地手当を正職同様に

〈労働条件〉職員の増員・欠員補充（年休・休憩時間確保のため、利用者の重度化への対応など）、休憩時間の保障、子の看護休暇・介護休暇の有給化、非正規の休暇（忌引・夏季等）を正職同様に、組合掲示板の設置

〈母性保護・健康対策〉ガン検診の補助・年齢拡大・ガン検診の有給保障、生理休暇の取得・男性保育士の健康管理休暇、職員の健康管理・メンタルヘルス対策

みんなで一歩　動いて前進

「みんなが笑顔になる要求」つくり 一時金0・1ヶ月上乗せを実現

東海地本の新歓にもみんなで参加

東海地本　みなと福祉会分会

「つどい」で出る思いや愚痴を要求につなげて

みなと福祉会分会では、「つどう」ことを大切にし、そこで出る想いや愚痴を要求につなげるようにしています。

事業所が増え職員の業種も増えるなか、今年度は「みんなが笑顔になる要求」にすることをめざし、ベースアップ、55歳までの定期昇給、一時金の増額を重点要求としました。

団体交渉では、各職場の状況、休憩時間がとれない現状、サービス残業の常態化など、切実な思いを理事長はじめ、団交に参加した管理職に訴えました。最後に「みんなが元気になって終われるような団体交渉にしてください」と要求しました。

みんなの想いが通じた上乗せ 笑顔で団交終える

理事会の求めから休憩を入れた後、理事長から「一時金を0・1ヶ月分上乗せする」という回答がでました。たかが0・1ヶ月かも知れませんが、みんなの想いが通じた0・1ヶ月だと感じ、妥結に至りました。

「法人」と「労働組合」が施設のあり方を一緒に考え、大きくなっていくことが大切なのだと、改めて考えさせられた春闘になりました。

他園や地域のなかまも団交に参加 一律5400円の昇給勝ち取る

なかまがいるから、がんばれます

京都地本　青いとり保育園分会

株式会社の運営で賃金・労働条件が大幅に低下

青いとり保育園は、京都市立病院の院内保育所です。保護者とともに運営委員会方式で運営していましたが、2011年度からは公募により委託を受けたビジョンハーツ（株）の運営となり、園長含め職員全員が1年契約の非正規職員となりました。委託前にいた職員の半数が退職し、給与も以前の7割に減りました。

ビジョンハーツによる運営は赤字ですが、今年の昇給の提示は2・2%でした。しかし「消費税も上がるし、昨年より下回る回答は認めないぞ」という気持ちで団交に臨みました。

希望をもって働きつづけられる保育園めざして

企業委託になって以降、団交には分会と地本だけでなく他の保育園のなかまや地区労・医労連も参加しています。今回も組合員の倍以上の応援を得て、一律5400円（3・2～2・4%）を勝ち取ることができました。

今年は委託先の再公募がある年です。職員が雇用の心配をせず、将来に希望を持って働き続けられる保育園こそ、子どもたちや保護者にとっても安心できる場所になりえるのです。引き続き病院当局や京都市にも働きかけていきます。

福祉のなかま 今月の主張

たたかうことができる幸せ

「たたかうことができる幸せ」。この言葉は、10年前に入事考課・能力給の導入提案に対してたたかった分会の熱心な委員長が、東京地本の大会で発言した言葉だ。労働組合の存在意義を実に的確に表現した言葉だ。

不条理なハラスメントが横行する職場。「いやなら辞めろ」と言わんばかりの態度で寄せられてくる。

先日、労働相談から新しく結成・公然化した分会の第1回団体交渉に参加した。組合を結成して要求したことは「働き続けられる職場環境」。園長によるセクハラ・パワハラの一掃だった。

初めての団体交渉では、とても初めてと思えないほどの迫力があった。声を震わせ、勇気をふりしぼり、思い出したくもない園長からのハラスメントを、泣きそうになりながら発言する組合員。組合員の発言を妨害する理事者の態度に、机を叩いて抗議する組合員。

賃金や労働条件を一方的に改悪する職場。ボロボロになるまで働かせ、病気になるとすぐに退職を求めてくる職場。こうした職場で苦しむなかまの声が、労働相談で毎日のように発言した組合員に対して湧き起こる拍手。

団体交渉が終わったあと、「よかったね！」と涙をうかべてお互いの奮闘をたたえあう組合員の姿。その姿に感動するとともに、この喜びをたくさんの福祉労働者に味わってほしいと思った。

この分会のたたかいはこれからだが、組合員たちは「たたかうことができる幸せ」＝労働組合の持つ権利と力を十分に実感した。

新しいなかまの姿から学ぶことは多い。なかまを増やすことを追求することは、労働組合としてとても大事なことだ。なかまを増やそう。「たたかうこと のよろこび」を多くの人に実感してもらおう。

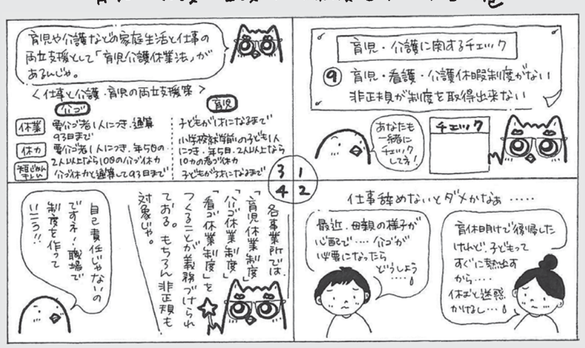
福祉労働と運動の明日をつくる　学習・交流・情報誌
「福祉のなかま情報版」
好評発売中 定価300円（送料別）
特集６月号（218号）…○「社会福祉協議会のいまに迫る～ドラマ「サイレント・プア」は何を映したか」（仮）
４月から全９回の放送がされたNHKドラマ「サイレント・プア」。深田恭子さんが社会福祉協議会のコミュニティーソーシャルワーカーを主演し、引きこもりや貧困などの問題と向き合っていきました。６月号では、話題となったドラマのポイントを伝えるとともに、社会福祉協議会の役割と仕事を特集します。
なお、購読されているみなさんにはすでにお伝えしていますが、６月号の発行をもって「福祉のなかま情報版」は休刊に入ります。９月に予定されている第30回定期全国大会で新たな宣伝戦略を確立していきます。

教えて「福志郎（ふくしろう）先生」76

案・ナカノ　画・ニムラ

～職場「法令遵守度」チェック～編

「育児・介護・看護休暇制度をチェック」の巻



「みんなの一歩キャンペーン」
賛同金にご協力を！
目標1000万
みんなの一歩
運動の理解を広げ、大きく展開していくための必要経費として協力（団体１口3000円、年間1000口以上目標）をお願いします。
郵便振替口座
00110-1-45713 全国福祉保育労働組合
（「みんなの一歩賛同金」と明記してください）

福祉保育労 ニュースフラッシュ

今日も「１人加入」報告あり!!

８ヶ月連続組織拡大－福岡地本

毎月組織拡大について開催している、「福岡地本組織拡大推進会議」。

参加者が少なくても、次回までのとりくみや、各分会の状況報告をしています。今月の参加は、委員長・書記長・書記次長の３人でしたが、この日も委員長の職場で１人の拡大があったとうれしい報告があり、５月に３人の拡大となりました。

昨年10月から続く８ヶ月連続拡大の成果を絶やさないように、福岡地本の心をひとつに、拡大を推進していきます。

「平和がイチバン！」訴え歩く

平和行進で「ノボリ」をつなぐ－北海道地本

広い広い北海道の平和行進は、礼文島から函館まで南下する縦断コースに東西から網の目コースが途中合流します。福祉保育労の仲間は３地域でノボリをつなぎました。

晴れの北見をスタートし、快晴の旭川では、大声で「平和がイチバン」「イイベサ！」コール！ベテランの通し行進者や原水協の方々に「福祉保育労が盛り上げてくれた！」と大好評でした。暴風雨で気温８℃まで下がった札幌は、３コースで22人が雨ニモ風ニモ負ケズ、震えながらも平和を訴えました。

「労働組合が必要」に確信

保育部会学習交流集会

全国保育部会学習交流集会を５月17・18日に千葉で行いました。北海道から中・四国まで145人が参加しました。

記念講演は、「子どもの貧困」をテーマに元教員の白鳥勲氏を招いて、貧困家庭の高校生などに無償で勉強を教える活動を通しての教訓などが話されました。最後に組合活動について、「組合費が高いという人がいる。しかし、組合がない職場は、賃金削減や長時間労働があたり前。体を壊したりして仕事を辞めざるをえ得ない。解雇など裁判になれば収入も絶たれるし、お金も時間もかかる。でも組合があればそれを阻止できる。組合に入っていない方が高くつく」とまとめられました。

分科会は、各地からの提案リポートをもとに討論が活発にされました。基礎講座は、組合を知る会のように、グループ討論を中心に「組合のイメージは？」などを話し合いました。「最後は組合が必要」と確信がもてる内容で「語り合う時間がもっとほしかった」との感想がありました。

18日の午後から保育部会総会をおこないました。